

「第 50 回医療功労賞表彰」

保岡クリニック論田病院

理事長 保 岡 正 治

受賞のことば

このたび、一般社団法人徳島県介護支援専門員協会並びに徳島県から御推薦を頂き、「長年にわたり徳島県介護支援専門員協会の役員として超高齢化社会に適応した福祉・介護分野で活動を行っている医療従事者」として、読売新聞社主催/厚生労働省後援による「第 50 回医療功労賞」を授与されました。身に余る光栄であり、関係各位に深くお礼申し上げます。

徳島県介護支援専門員協会は、1999 年 3 月に全国に先駆けて設立された伝統ある団体ですが、私も当初から役員に参加し、慢性期医療を提供する団体の立場から様々な提言を行うとともに、福祉・介護・行政関係者を含めた多職種との交流を通して、ケアマネジメントのスキルアップに向けた活動に参画して参りました。

今日、本邦における超高齢化社会に向けて地域住民の住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築が進められている中で、介護支援専門員と慢性期医療に携わる医療職とが密接に提携し、個々の利用者の特性に合わせた質の高いケアプランを作成することが求められています。新型コロナ感染症の渦中があり、様々な活動や業務が制約された環境下で、改めて関連職種の連携と協働作業の重要性を認識したところです。

介護保険制度では科学的介護の推進が求められる時代を迎えています。医療においても、栄養管理やリハビリテーションが重要となる高齢者特有の病態に適応できる医療体制創りが急務になっています。

これからも自分たちに与えられた役割を担い、本県の医療介護連携体制を構築するため研鑽していく所存です。

今後とも一層の御鞭撻・御指導賜りますようお願い申し上げます。

